

# 令和3年度 西和賀商工会経営発達支援計画評価報告書

## 評価基準

- A→目標を達成することができた（100%以上）
- B→木不要を概ね達成することができた（80%～99%）
- C→目標を半部程度しか達成することができなかった（30%～79%）
- D→目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）

## I 経営発達支援事業の取り組み内容

事業	項目	目標	実績	実績	評価
1. 地域の経済動向調査に関すること (指針③)	情報交換会の開催	2	3	信金、公庫の懇談会開催、新春講演会	B
	プレミアム商品券の分析	1	1	2月発行の会報に掲載	A
	観光客経済動向調査の実施	4	2	観光客入込数など商工会HPに掲載	C
	地域経済動向の公表	2	3	商工会HPで公表	A
2. 経営状況の分析に関すること (指針①)	経営状況の分析のための巡回件数	55	55	巡回調査により実施	A
	経営状況の分析件数	55	55	ヒアリングシート等経営状況分析	A
	専門家と連携した経営分析	5	20	専門家による支援	A
3. 事業計画策定支援に関すること (指針②)	新たな取組みのための事業計画策定セミナー	1	1	コロナ禍により web 開催	A
	事業計画策定セミナー	2	3	3回10名参加	C
	事業承継計画策定支援ナー	2	2	個別相談1回2名参加	C
	創業計画策定支援セミナー	10	2	コロナ禍により個別にて開催	C
	事業計画策定事業者数	50	11	持続化3件、マル経2件、経営革新1件、もの補助1件、経営力向上1件、先端設備導入1件、事業再構築補助金1件	C
	事業承継改革策定事業者数	5	12	事業承継計画12件	A
創業計画策定件数	1	2	サービス業1件、小売業1件	A	

事業	項目	目標	実績	実績	評価
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること（指針②）	事業計画策定フォローアップ	200	206	持続化補助金等の報告書作成時に進捗管理	A
	事業承継計画策定フォローアップ	20	12	事業報告書作成時に進捗管理	C
	創業計画策定フォローアップ	6	3	事業報告書作成時に進捗管理	C
5. 需要動向調査に関すること（指針③）	食品製造・小売業（製造系）のための需要動向調査	10	2	6月いわて食の大商談会に出展1件、7月web商談会1件	D
	宿泊・飲食業のための需要動向調査	20	14	事業再構築補助金、もの補助、経営革新、持続化申請時に調査7件、西和フェア7社	C
	専門家派遣	5	4	個社支援4社	B
	業界紙・情報誌等による情報収集	12	12	業界紙等を活用し情報収集を実施	A
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること（指針④）	食品製造・小売（製造系）への物産展に対する支援	10	3	商談会出展支援、商品サービスの構築案・販促ツール提案による個社支援	D
	商談件数	10	17	いわて食の商談会展による商談14件、内成約0件。web商談会展による商談3件、内成約0件。	B
	「西和賀ネット」による取引増加企業数	5	0	西和賀ネット未稼働	—
	「西和賀ネット」による年間取引増加件数	150	0	西和賀ネット未稼働	—
	ご当地グルメ実行委員会開催	2	2	地域資源活用実行委員会2回開催	A
	ご当地グルメ取扱店舗数	40	26	季節の食材西和賀フェア実施10/1～31	C
	専門家派遣	5	3	1社×1回、2社×1回	B
	建設・製造業（非食品）への展示会・物産展等に対する出店支援	2	0	未実施	D

## II 地域経済の活性化に資する取り組み内容

事業	項目	目標	実績	実績	評価
1. 「永久（A級）グルメ」	提供店舗	40	26	第3回季節の食材西和フェア	B
2. 永久（A級）グルメ	実行委員会開催	2	2	地域資源活用実行委員会2回	A
3. 山菜ブランド	提供店舗	15	26	第3回季節の食材西和フェア（地元の共通食材きのこ）	A
3. 山菜ブランド	実行委員会開催	2	2	地域資源活用実行委員会2回	A
4. プレミア商品券	発行セット数	5,000	8,000	プレミアム率30%	A
5. 雪あかり	集客数	7,400	0	コロナ禍により中止	—

## III 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取り組み

事業	項目	目標	実績	実績	評価
1. 他の支援機関との連携を通じた援ノウハウ等の情報交換にかんすること	地域の経済動向・資金需要に関する情報収集	2	2	6月、10月2回実施	A
	事業計画策定支援に関する情報収集	3	19	専門家が来商した際に情報収集を実施	A
	支援力向上のための行政との懇談会開催	1	2	8月、11月行政との懇談会開催	A
2. 経営指導員等の資質向上等に関すること	研修会への積極的参加	6	14	Web活用により、県連主催及び外部機関の研修会に参加	A
	定期的な情報共有の場の開催	12	12	職員ミーティングを実施し情報共有	A
	経営計画策定における資質向上	随時	随時	専門家と同行し支援力の向上に努めた	A
3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること	評価委員会の設置と開催	2	2	評価委員会を2回開催	A
	理事会への報告	2	5	理事会の都度報告	A
	結果の公表	2	2	商工会HPで公表	A